

令和2年1月21日
国土交通省中部地方整備局
沼津河川国道事務所

記者発表資料

国道1号 ささはらやまなか 笹原山中バイパスが全線開通します！

1. 概要

国道1号 笹原山中バイパスは、国道1号現道の幅員狭小、線形不良、急勾配区間をバイパスし、交通安全の確保等を図ることを目的とした道路です。

このたび、国道1号 笹原山中バイパスの笹原地区（延長2.7km）が、令和2年2月22日（土）に開通致しますのでお知らせします。

この開通により、笹原山中バイパス全線（延長4.3km）が開通することとなります。

【開通区間の概要】

＜開通日＞ 令和2年2月22日（土）

＜開通区間＞ 国道1号 ささはらやまなか 笹原山中バイパス（ささはら 笹原地区）
ささはらしんでん
静岡県三島市笹原新田地内
延長2.7km（2車線）

○開通時間は決まり次第お知らせします。

○開通にあわせ、開通式典を行う予定です。詳細は決まり次第お知らせします。

開通により期待される効果

- (1)交通安全の確保【別紙2】
- (2)観光活性化の支援【別紙3】
- (3)企業の物流を支援【別紙4】

2.配 布 先： 静岡県政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ

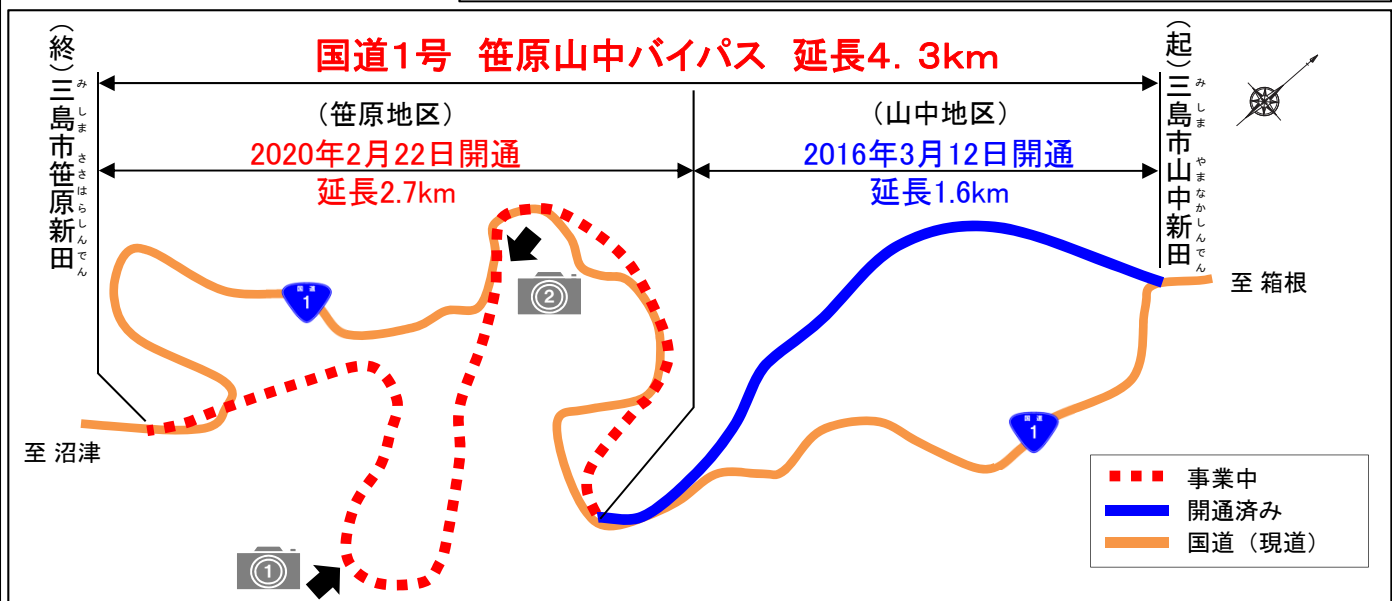
3.問い合わせ先： 〒410-8567 沼津市下香貫外原 3244-2
国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所
副所長(道路) おおたけ つねのり 大竹 庸訓 計画課 いとう かな 伊藤 加奈
Tel 055-934-2010 FAX 055-934-2015
事務所 HP <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

笹原山中バイパスの事業概要

別紙 1

- 国道1号笹原山中バイパスは、国道1号現道の幅員狭少、線形不良（急カーブ）、急勾配区間をバイパスし、交通安全の確保等を図ることを目的とした道路です。
- 令和2年2月22日に笹原地区（延長約2.7km）が開通することで、笹原山中バイパスは全線開通となります。

位置図



工事状況写真



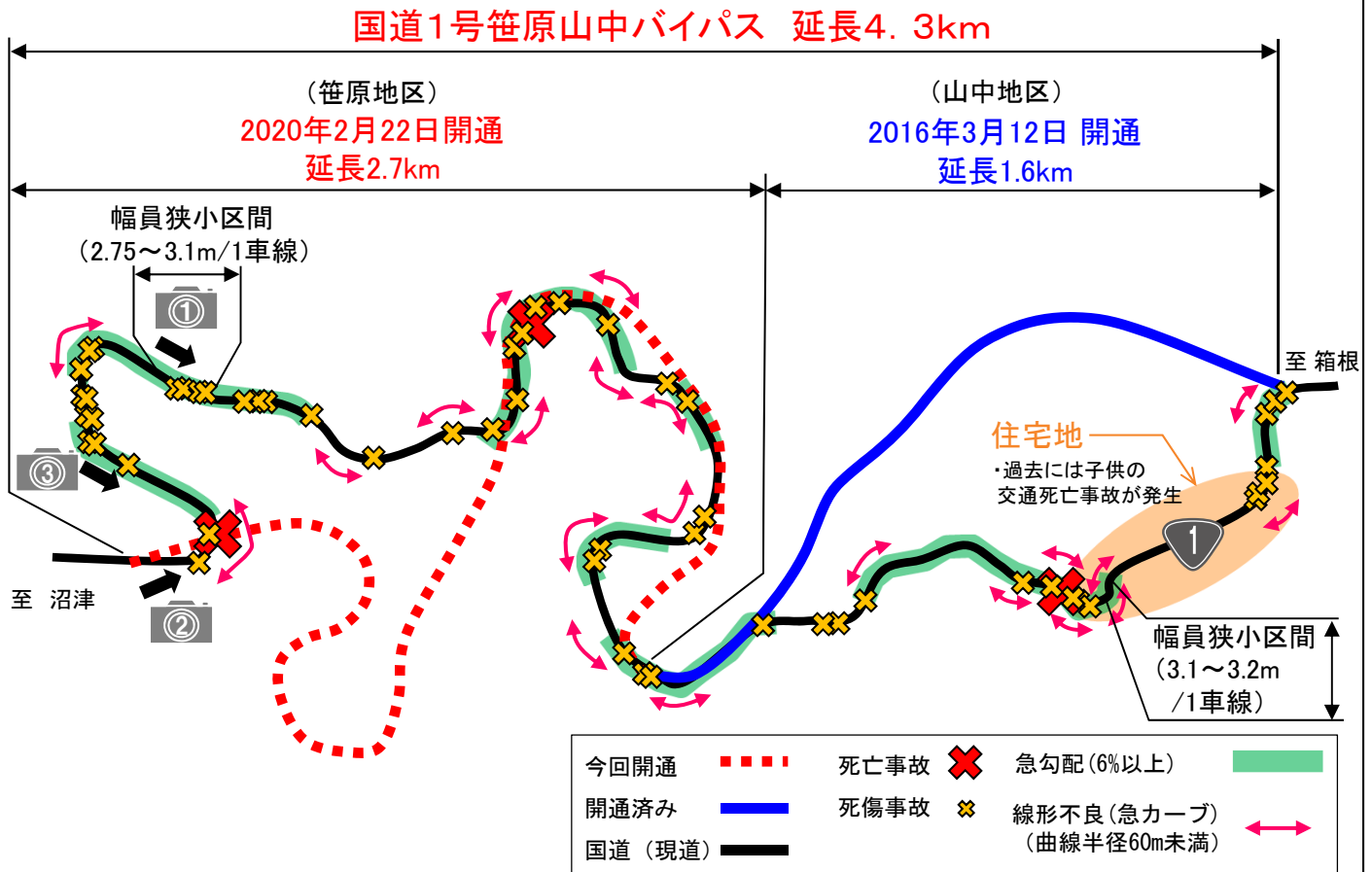
2019.12撮影



2019.12撮影

- 国道1号現道は、幅員狭少、線形不良(急カーブ)、急勾配区間が多く交通事故が多発しており、過去には、住宅地の子供の交通死亡事故が発生
- 笹原山中バイパスの開通により、課題箇所をバイパスすることで、道路利用者の交通安全を確保

国道1号現道の課題



出典(死傷事故): 交通事故・道路統合データベース(2013~2017)
(死亡事故): 交通事故・道路統合データベース(2004~2017)

■ 幅員減少



車線幅員が狭く最小2.75m/1車線
※道路構造令では3.25m/1車線と規定

■ 急カーブ



曲線半径60m未満が連続
※道路構造令では100m以上と規定

■ 急勾配

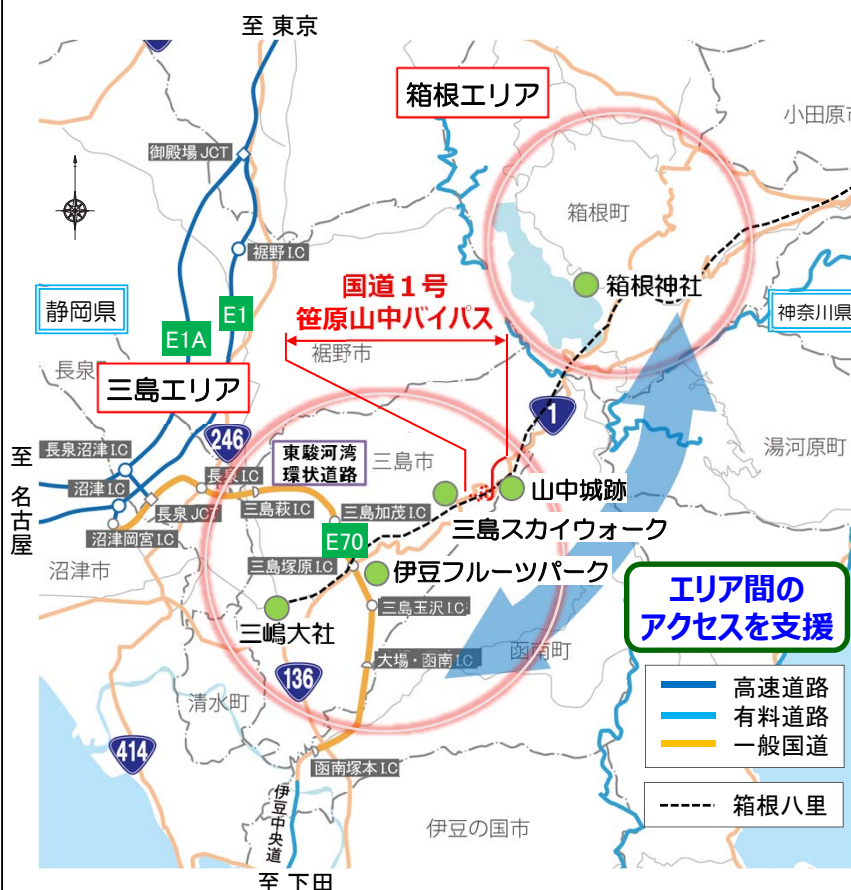


縦断勾配6%以上が連続
※道路構造令では6%以下と規定

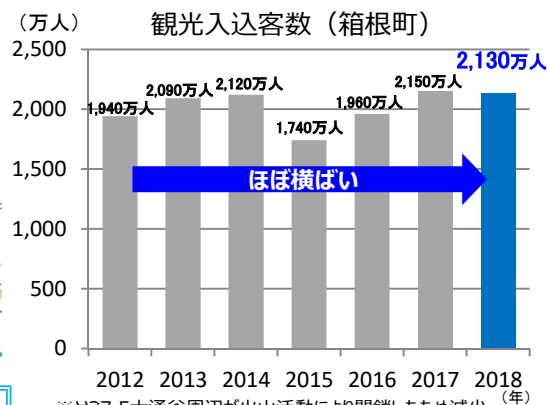
- 三島エリアは、近年、三島スカイウォーク等の観光施設が立地し、観光客が増加傾向
- 箱根山中バイパスの開通により、約2千万人の観光客を有する箱根エリアと三島エリアが安全な道路で結ばれ、両エリアの更なる観光活性化を支援

周辺の観光入込客の状況

■国道1号沿線の観光施設

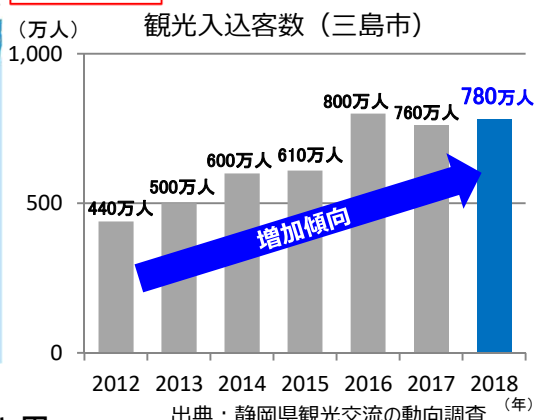


箱根エリア



箱根山中バイパスの開通により
安全な道路で結ばれる

三島エリア



■三島スカイウォーク

2015.12の開業から約4年で400万人達成！



出典：三島市提供

■箱根八里

県内初！2018.5日本遺産※に認定！

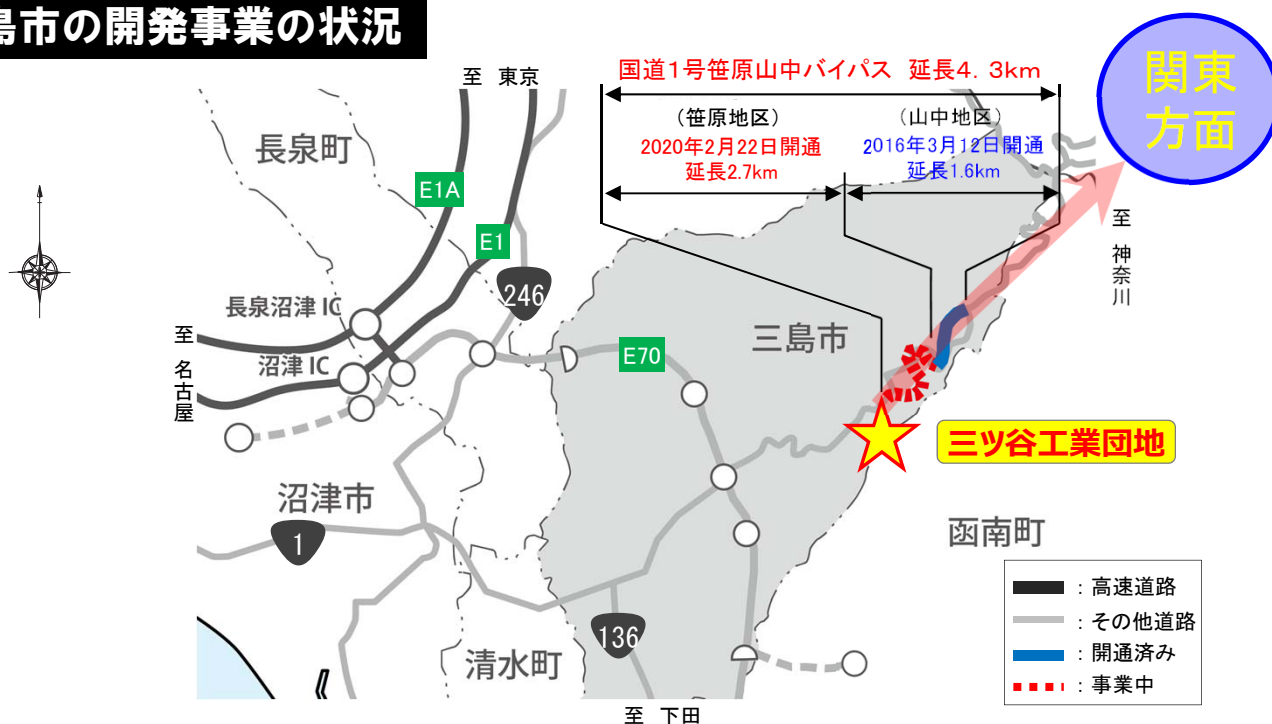


出典：箱根八里街道観光推進協議会HP

※文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定。

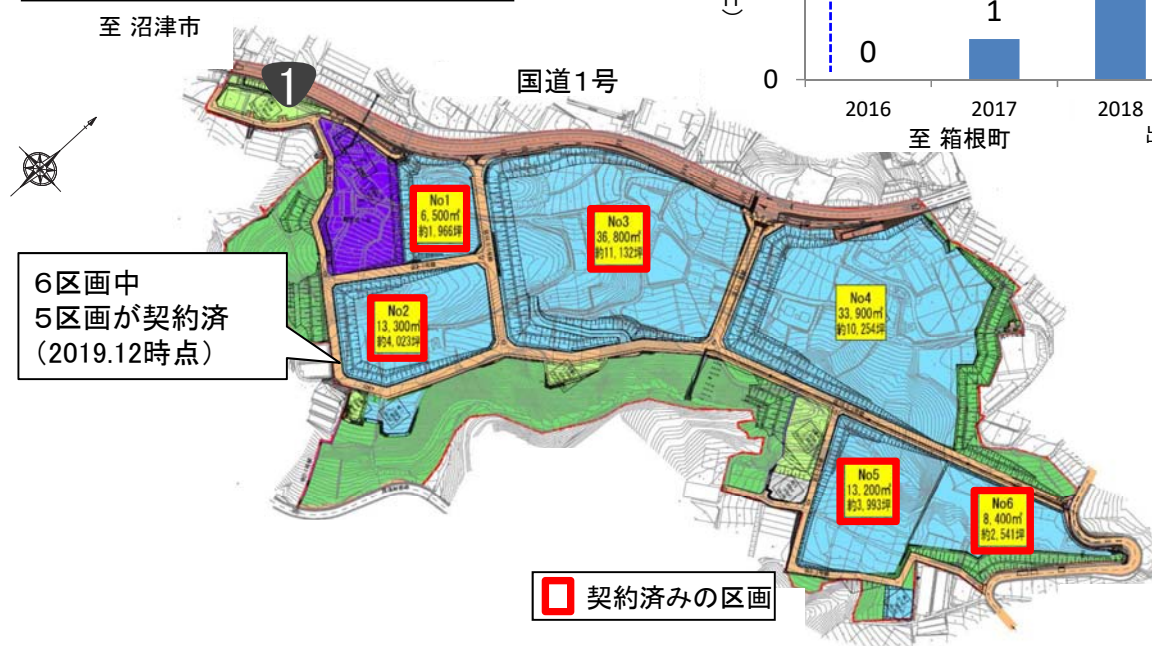
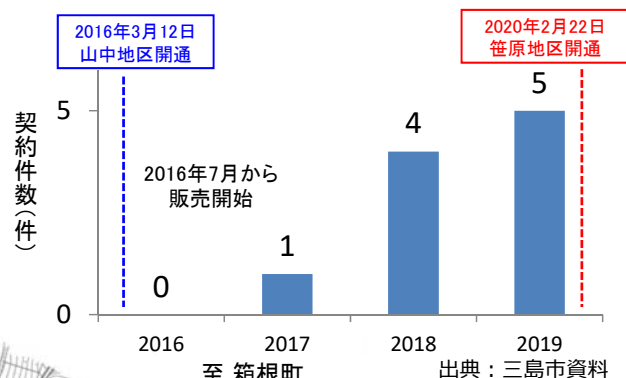
- 国道1号笹原山中バイパス沿線では、三島市が新たな産業拠点として三ツ谷工業団地を整備
- 三ツ谷工業団地は、既に6区画中5区画に関東方面を商圏とする企業等の進出が決まっており、笹原山中バイパスの開通により、関東方面への物流を支援

三島市の開発事業の状況



■ 三ツ谷工業団地の概要

三島市三ツ谷工業団地
【2018年12月一部完成】
分譲面積:約7.8ha,区画数:5区画
【2019年完成】
分譲面積:約3.4ha,区画数:1区画



笹原山中バイパス周辺の状況

参考



2019.12撮影